

◇ 2004年度版中小企業白書

Q : 2004年版中小企業白書が中小企業庁から公表されたそうですが、内容を教えてください。

A : 次のような内容になっています。

【解説】

①平成15年度の中小企業の景気動向

企業全般としては、一昨年(平成14年)の春以降、景気は持ち直しの動きを見せているようですが、中小企業は大企業に比べて回復が遅れが見られ、中でも、非製造業に回復の遅れが見られるようです。また、金融環境という面では、中小企業の資金繰りや借入難易度は最悪期を脱したものの、今後の動向については引き続き注視が必要です。一方、中小企業の倒産件数は昨年(平成14年)の水準から15%減少し、16,000件を下回っており、改善傾向にあるようです。

②中小企業を巡る新しい動きの分析

分析結果の一つである「中小企業の事業承継」では、経営者の子供の事業承継適齢期について、30歳代後半から40歳代で承継した経営者の過半数は適当な年齢で事業承継できたと考えているようであり、ある程度の経験を積んでからバトンタッチするのがよいと考えているようです。ちなみに、経営者の子供について、他社での就業経験が有る場合は無い場合に比べて、従業員数成長率は高くなるようですが、事業を承継する意思が無いまま他社の就業を経験しても、就業の効果はあらわれないようです。

